

災害時相互応援協定市町支援

中部経済新聞に、掲載されました。

中部経済新聞

2024年(令和6年)4月16日 火曜日 (日刊)

2024年(令和6年)

4月16日
火曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
販売部 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
経銷部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2024
購読のお申し込みは
052(561)2011・6085・9123



左から成瀬敦幸田町長、小幡社長、川口内灘町長

石川県内灘町に「10年急須」寄贈

鈴木化学工業所

【三河】鈴木化学工業所(本社愛知県幸田町)の小幡和史社長は、能登半島地震の被災地である石川県内灘町を訪れ、義援金と同社のオリジナル商品「10年急須」20個を川口克則町長に手渡した。幸田町が

内灘町と「災害時相互応援協定」を結んでいることから、町に同行し、炊き出し支援も行った。10年急須は、両町のご当地キャラクターを印刷した特別仕様とした。

義援金は会社から50万円のほか、従業員から募った16万4千円を寄付した。10年急須は、主力の自動車用プラスチック部品製造の技術を応用したオリジナル商品で、軽くて耐久性が高い。今回は、7色展開するカラーのうち、「元気が出るように」(小幡社長)とイエローを選択。表面に両町のご当地キャラクターである幸田町の「えこたん」と内灘町の「ウッチー」をレーザー印刷した。

同急須は哺乳瓶にも使われている安全な素材を使い、二重構造で保温、保冷性に優れるこ



「被災地に安心、援したい」(同)との思いを込めた。

2024年4月13日(土)幸田町様と能登半島地震の被災地である石川県内灘町を訪れ、義援金と特別仕様の10年急須を内灘町長様に手渡し、炊き出しの応援もおこないました。